

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立市浜小学校

⑦生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

取組の具体①

○生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

本校では「支持的風土」を基盤とした授業づくりをめざして、主体的・対話的に学び合う子どもの育成に算数科を中心に取り組んでいる。

(1) 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な学習過程・展開

【導入「決める」】…児童が問題解決への思いや願いをもち、主体的に「課題」を設定する。(決)(自己決定の場合)

【展開「求め・深める」】…よりよく課題解決を図るために、「対話」の目的やその目的を達成するうえでふさわしい相手を意識した「わかり合う」場を設定したり(求)、お互いの考えのズレや違いをもとにした「深める問い」を効果的に位置づけたりする。(深)(共感的な人間関係)

【終末「活かす」】…よりよく解決できたことを実感させるための「ふりかえり」の工夫をする。(活)(自己存在感)

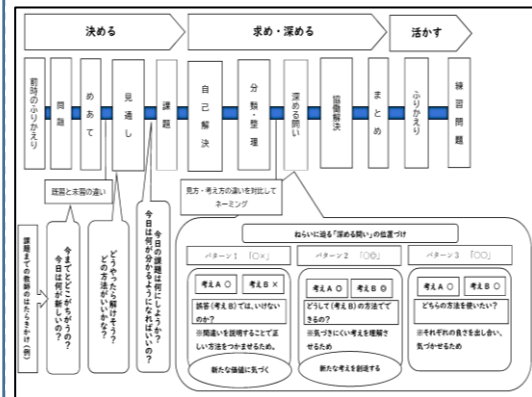
(2) 児童の主体的な「対話活動」で共感的な人間関係を育む。

相の対話…相談したい。自分の考えをもちたいわ(対話)(仮名)

双の対話…双方の考えを共有する。考えを広げたいわ(対話)(仮名)

創の対話…考えが広がり、深まる。より良い考えを創りたいわ(対話)(仮名)

生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開



「支持的風土」

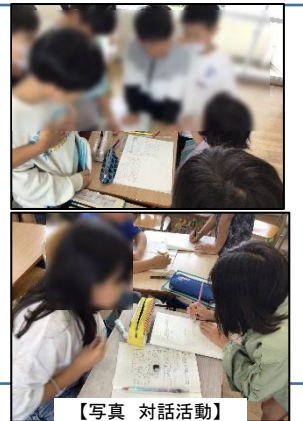
【図 市浜小 支持的風土を基盤とした問題解決的な学習展開】

取組の具体②

○生徒指導の3機能を意識した問題解決的な授業の実例(板書から)

算数科 小学校4年 「角」 「角の大きさのはかり方を考えよう」

対話活動(共感的な人間関係の育成)



【写真 対話活動】

課題 分度器2個ないとできない角の大きさををはかるには どうすればいいか

(展開) たす方法で $180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$ と答えが分かる。他の考えが出ずに落ち着いている所で、教師が「 $360^\circ - 120^\circ =$ 」の式を板書する。児童は「なぜひき算か」と疑問に思いながら、自力解決する。「分かった」「分からない」と声上がり、対話活動が始まる。新たな考えと出会い、対話をしながら考えが深まる。共感的な人間関係が深まる。